



東北森林管理局 森林技術センター

たより



〒037-0305
青森県北津軽郡中泊町
大字中里字亀山540-8
TEL 0173-57-2001
FAX 0173-57-4929
E-mail:t_gijyutu@rinya.maff
.go.jp

ヒバ巣植えによる施業確立へ向けた取り組み

ヒバ（ヒノキアスナロ）は、秋田の天然スギ、木曾ヒノキとともに日本三大美林のひとつに数えられており、資源量のおよそ8割が津軽、下北半島に集中して分布しています。

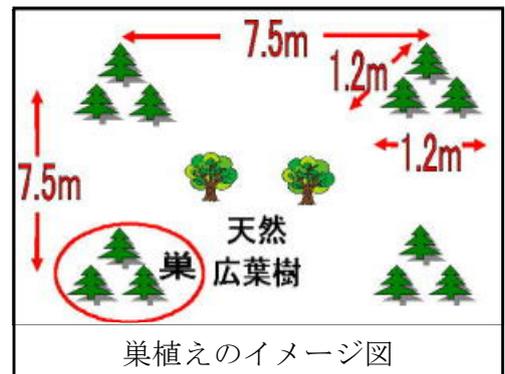
ヒバは巣状にまとまって成立することが多いことや広葉樹と混交しやすいという生態的な性質があります。

東北森林管理局では、このようなヒバの性質に着目した、ヒバの巣植えによるヒバ・広葉樹混交林施業の確立に向けて取り組んでいます。

巣植えとは、通常的人工造林のように苗木を列状に植栽するのではなく、複数の苗木を一ヶ所に群（巣）として植栽する方法です。東北森林管理局では現在、3～5本ごとにヒバの巣を7.5m間隔の格子状に配置する方法でヒバを造林しています。地ごしらえ、下刈り（坪刈り）は植栽部分のみ行い巣と巣の間に、ミズナラ、ホオノキなどの高木性広葉樹の導入を図り、針広混交林化を目指しています。



ヒバと広葉樹の針広混交林



このような森づくりは、水土保全機能や生物多様性の確保など、森林の公益的機能の維持・向上につながるものと期待されます。また、植栽本数の低減、地ごしらえ、下刈り作業の省力化など、造林作業の低コスト化にもつながることから、スギ造林地の皆伐跡地の更新コストを抑制する方法としても期待されます。



巣植えしたヒバ苗



天然更新したミズナラ

局幹部による安全指導



現地で安全指導を受けているところ

6月21日（火）、東北森林管理局 谷企画調整室長、青森事務所 小野副所長による安全指導が当センター今泉山国有林350林班は2小班において行われました。

指導事項として、室長からは、お互いに声を掛け合って作業をする、日常の健康管理に留意、交通事故の防止（車両破損にも留意）副所長からは、熱中症対策、ツツガ虫病の感染予防などの指導をいただきました。

特に森林技術センターでは、調査が主体の作業が多いことから、「足場・足元、周囲の安全確認の不十分」に起因する災害が発生しないよう指導に努めているところです。

これから、暑さの本番を迎えることから、安全に留意し、健康管理に努めながら作業をするよう誓い合いました。

金木支署管内のクリーンアップ作戦に参加

5月31日（火）金木支署管内屏風山国有林でクリーンアップ作戦が行われました。当センターから所長、森林技術専門官が参加し、出来島埋没林周辺の海岸においてゴミ拾いを行いました。

海岸には、波による漂着物やゴミ袋ごと捨てられたと見られる空き缶やペットボトル、中には粗大ゴミの冷蔵庫や自動車のタイヤなども発見されました。

約2時間かけて作業を行い、用意されたゴミ袋がなくなり終了となりました。

今後も美しい森林づくり・美しい海岸林に蘇えさせる活動により、不法投棄防止のPR活動及び保安林の公益的機能の保全に気持を新たにしました。



クリーンアップ作戦実施中

東北森林管理局 長谷川企画官、岩間技術開発主任官が来所

東北森林管理局で管内の技術開発を担当する、計画部の企画官、技術開発主任官に5月16日付けで着任した長谷川洋三企画官、岩間由文技術開発主任官が6月9日（木）～10日（金）に森林技術センターを訪れ、増川ヒバ施業実験林、中泊町内の試験地などをみて回り、それぞれの説明を聞き、今後の対応等についてお互いにいい議論ができました。



現場で説明を聞く長谷川企画官、岩間主任官

町内の方々に森林技術センターの取り組みを紹介

6月22日（水）に、森林技術センターが所在する中泊町の小野町長をはじめとする、三水会（公共団体の長等の集まり）の皆様を対象に、森林技術センターの最近の取り組み内容について、所長から、「森林技術センターガイド」等により説明させていただきました。

ヒバ施業のことだけでなく、最近の林業全体の情勢などにも詳しい方々ばかりなので、鋭い質問がよせられました。

また、当方からは、森林・林業再生プランや森林法改正等を受けて、準フォレスター研修の実施、森林共同施業団地の設定、一般会計化の方向、震災復興への貢献等、国有林のスタンスについて説明しました。

今後とも皆様のご理解を得ながら業務を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



情報交換の様子

お世話になります

新副所長 白戸 副康

（津軽森林管理署 鱒ヶ沢森林事務所首席森林官より着任）

5月16日付の人事異動で、津軽森林管理署鱒ヶ沢森林事務所から森林技術センターに配属になりました白戸です。森林技術センター勤務は初めての勤務になりますが、精一杯頑張りたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

新森林技術専門官 岡浦 貴富

（津軽森林管理署 金木支署業務課長より着任）

平成23年5月16日付けで森林技術専門官に任命されました岡浦貴富（おかうらたかとみ）と申します。これまでは、秋田県、山形県で7年間勤務し、昨年4月から初めて青森県内の勤務となりました。出身地は、大阪府枚方市です。

青森県といえば、県木である青森ヒバが有名であり、地元の方々の熱い思い入れを感じているところです。私も昨年从那その熱い思い入れに触発され、青森ヒバについて勉強中であります。青森ヒバの生態は、奥深く解明されていない部分も多く、ますます興味をかき立てられているところです。当センターの職員の方々からご指導いただきながら精進し、技術開発の調査で得られた有用な知見を少しでも多く発信していきたいと思っております。



お世話になりました

前副所長 小笠原 孝
(宮城北部森林管理署 次長へ)

このたび5月16日付けで宮城県大崎市にあり
ます宮城北部森林管理署に転勤することになりました。

森林技術センター在勤中は、職員ならびに諸先
輩の皆様方からご指導ご鞭撻頂きたいへん思いで
深く仕事をさせていただきました、この場を借り
てお礼申し上げます。

また、増川・大畑施業実験林設定当時の貴重な
資料等に触れ、当時設定にかかわった方々の熱意
やヒバに対する思いをひしひしと感ずることがで
き、大変いい経験となりました。

最後になりますが、森林技術センターの益々の
発展をご祈念申し上げお別れの挨拶といたしま
す。



前森林技術専門官 田畑 良輝
(東北森林管理局 計画部計画課経営計画第四
係長へ)

5月16日付をもちまして、東北森林管理局計
画部計画課勤務を命ぜられました。

森林技術センター在勤中の2年2ヶ月の間、所
長をはじめ皆様方には公私ともにお世話になり誠
に有り難うございました。

赴任当初は、技術開発課題で具体的に何をすべ
きか全く分からず、悩みながらの調査となりご迷
惑をお掛けしました。

また、センター在勤中は職員の皆様、各研究機
関や大学等の先生方から様々なことを教えていた
だき、私自身としては良い経験をしたものと感じ
ており、この場を借りてお礼を申し上げます。

今後、新しい赴任地へ行きましても、森林技術
センターで得たものを十分に活かし一生懸命頑張
りますので、これからもご指導のほどよろしくお
願ひいたします。



編集後記

今年は、国際森林年です。

「森を歩く」が国内テーマとなっていることから、国有林マンとして森（山）を見る
力を高めましょう。

森林技術センターも新しい職員を迎え、気持ちを新たにして諸調査に取り組んでおり
ます。

熱中症に留意し、技術開発課題の調査等頑張ります。



2011・国際森林年